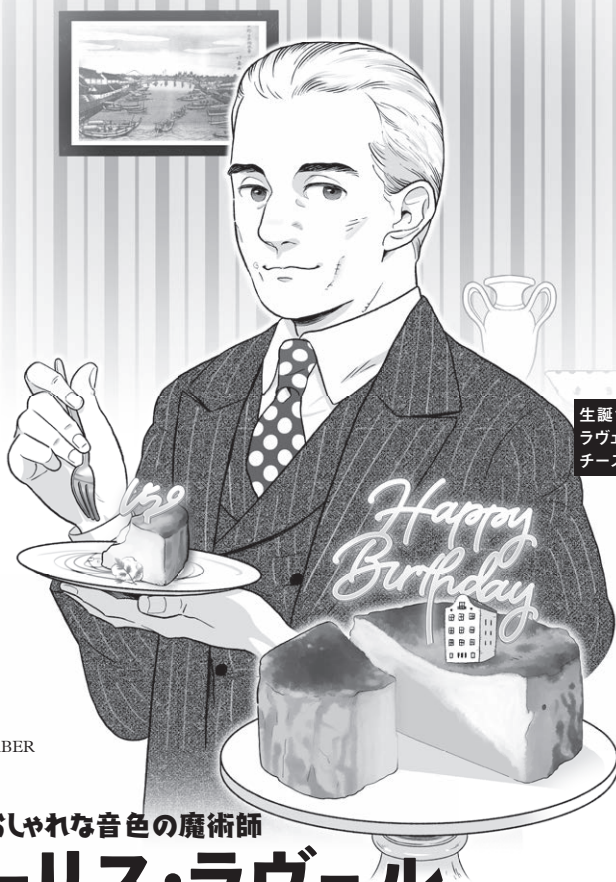


はじめてのクラシック

INTRODUCTION TO CLASSICAL MUSIC

イラスト:IKE/文:松井治伸



C

2025 NOVEMBER
[第2049回]

繊細でおしゃれな音色の魔術師

モーリス・ラヴェル

Maurice Ravel (1875–1937)

ラヴェルはダンディ。写真の中の彼は、髪をきれいにとかし、スーツをおしゃれに着こなしています。自宅の調度品も凝っていました。部屋の壁には装飾模様が施され、日本の浮世絵、アラビアのコーヒーセット、ゼンマイ仕掛けで歌う鳥の置物などに囲まれて暮らしていました。そうした「美しいもの」を求める彼の鋭敏な感覚は、作品にも反映されています。《亡き王女のためのパヴァーヌ》の夢のような世界は、一度聴いたら忘れられません。繊細な音の重なり。モダンでありながら懐かしさを感じさせる響き。ラヴェルの音楽は、磨き上げられた美術工芸品のようです。